



人権作品展示

(令和3年12月4日～12月10日)

下津井公民館に人権ポスター・標語を展示し、人権週間に来館された多くの皆さんにすばらしい作品をご覧いただきました。

紹介した作品は順不同ですので、ご了承ください。

下津井東小学校

★ ポスター

尾崎渚・寺崎夏來・吉田裕貴
高木青空・塚原昂誠



★ 標語

清水元陽・津田沙織
寺崎夏來・小玉桃花
武下沙羅・松田佑太
尾崎海斗・小西晃誠
吉田裕貴・岩津優里
大江逞斗・津田優輝
川邊門司・寺崎さくら
原淳之介・清水百香
中西あみ・福元美結



倉敷市人権ポスター 優秀賞

(倉敷市立美術館に展示されました)

下津井西小学校 5年
西川 凜



下津井西小学校

★ ポスター

鈴木綾華・幡多啓眞・守谷泰智
南條一玖・浦本大智



★ 標語

尾崎礼弥・宮野桜愛
山下葵夏・大崎心鈴
大西渚斗・山本将大
南條はるか・平石佳大
山下莉々依・荒尾湊
菅原基貴・幡多莉央菜
倉元沙和・長井皓河
西川天・西川凜
山本裕貴・大崎三羅依
松下柚心・寺崎優月



下津井中学校

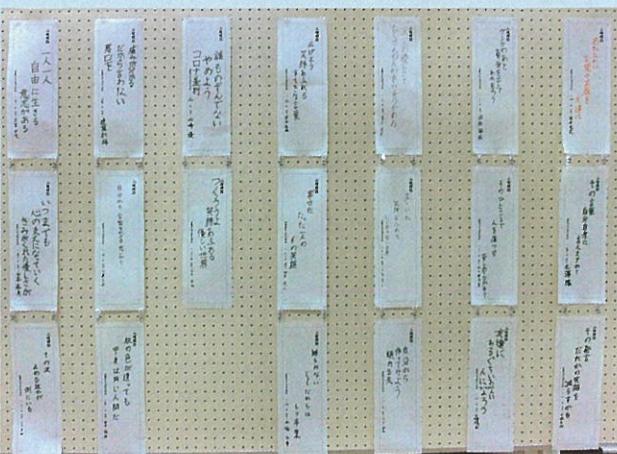
★ ポスター

岡本光花・亀井羅樂・浦本素良
津田詩織・三井秀斗・清水旬一郎



★ 標語

岡本光花・北澤陽
中塚美緒・古市海成
松下野乃葉・山崎慎司
亀井爽樂・北畠蒼大
宍戸郁哉・津田詩織
西原あいく・山崎汐音
山崎優・山本清楓
遠藤利稀・川邊ちとせ
田中瑞祥・久富伊吹
山本菜月・山本真綾



人権だより 第68号

かけはし

下津井中学校区人権テーマ：考え方 みんなの人権 未来の社会

重点課題：子ども・高齢者、地域に根ざしたふれあい活動

10/29
(金)

人権教育講演会 in 下津井公民館

「笑顔が一番 自分らしく暮らす」

講師 ジェンダー漫才 さっちゃん・ともちゃん



ジェンダー漫才を通して、多様な性や日本女性の国際社会との比較の中で、女性の進出の重要性や大切さをデータとして分かりやすく説明していただきました。人を大切に思うこと、一人にしないことの大切さと多様性を認め、自分らしく生きていく大事さを学ぶことができた講演会となりました。

< 参加者感想 >

- 尊重と対等のコミュニケーションの話の「ふんふん YES」「～のくせに NO」そして「I(アイ)メッセージ」は人権の基本だなと思いました。人間関係がぎくしゃくした時を振り返ると、つい「あなた」から切り出していた自分に気づきました。今日から職場や家庭において気持ちを新たに「私もあなたも大切」を心掛けたいと思います。
- 様々な状況の中で生活している一人ひとりが尊重し合って生きる、多様な性も受け入れながら皆が笑顔で暮らせる下津井を目指し、できることがあれば行動していきたいと思いました。
- 漫才という形でユーモラスに、でも大切なことを分かりやすく学べました。少子化の原因は当人だけの問題ではなく周りの人々、社会制度を整えることで解消していかないといけないと思いました。

12/12
(日)

国際交流会 in 下津井公民館

「ハワイ料理実習と講話」

講師 タケウチ・タイソン 先生



調理実習は和やかな雰囲気の中で、ハワイ料理で有名なココモコやマカロニサラダを作りました。講話ではハワイの文化・食生活・観光などについて、映像を交えて、丁寧にお話いただきました。また日本人移住の歴史や文化についてもふれられ、多くの学びとなる充実した交流会となりました。

< 参加者感想 >

- 日本からの移民の方々が日本の伝統行事（お盆のおどり）をきちんと伝えていっているということが分かりました。ハワイに神社や日本文化が多く残っていることにも感動しました。
- 知らないことに対して偏見をもったり、差別につながったりすることがあります。異文化と交流することで、より身近に感じ、ひいては偏見がなくなっていくと思います。
- ハワイは日本と歴史的に関係があり親近感を感じました。また全世界から人が集まって来ているところだと知りました。国際交流の人権学習に適していたと感じました。

小中学校の人权學習の取組

下津井東小学校

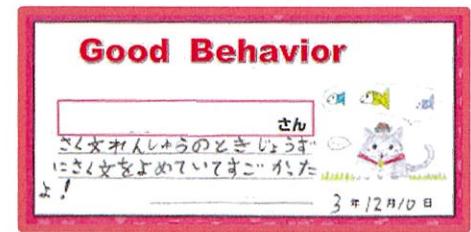
今年度も昨年度に引き続き、学校全体でGood Behavior (GB) チケットの取組を行いました。GBチケットは、全教職員で子どもたちが当たり前のようにしているよい行動を見つけ、よかったですを言葉で伝えるチケットです。各学級で表彰し、認められることで自分のよさに気付くきっかけになればと思って取り組んでいます。

また、「ともだちいっぱい旬間」の期間には、子どもたちがGBチケットを作成し、うれしかったこと、すごいと感心したことを伝え合う活動を取り入れました。教職員からではなく、子ども同士でGBチケットを渡し合って、互いに笑顔になる姿が多く見られました。今後も自分や友達のよさや頑張りを見つけながら、自分に自信をもって学校生活を送ってほしいと思います。

そして、各学級で学習・生活・友達に関するよい行動について振り返り、学級での頑張りについて、帰りの会で発表したり、言葉を掲示したりして確認できる機会も取り入れています。

【児童から児童に渡す

GBチケット



【学級ごとの取組 GBチケットや個人の頑張りを掲示】



下津井西小学校

～友達の輪を広げよう～

11月下旬に第2回校内なかよし旬間を実施しました。今回は、互いを認め合い、人権を尊重し合う心情を育てることをねらいとしました。

人権集会での絵本の読み聞かせや人権図書の紹介を聞いたり、なかよしの木の実に友達のよいところメッセージを作って相手に送ったりしました。この活動を通して、自分や相手のよさに気付き、伝えることが思いやりにつながることや友達へのよりよい接し方について学ぶことができました。また、6年生中心で考えた縦割り班遊び風船バレーや運営委員会主催の下西オリンピックにも取り組みました。これらの活動を通して、多くの人と関わることの楽しさや喜びについて学びました。

これからも、人の関わりを広げ、深めながら、互いのことを大切にする気持ちを育てていきたいです。

【人権集会朗読会】



【なかよしの木の実】



【縦割り班遊び風船バレー】



【下西オリンピック】

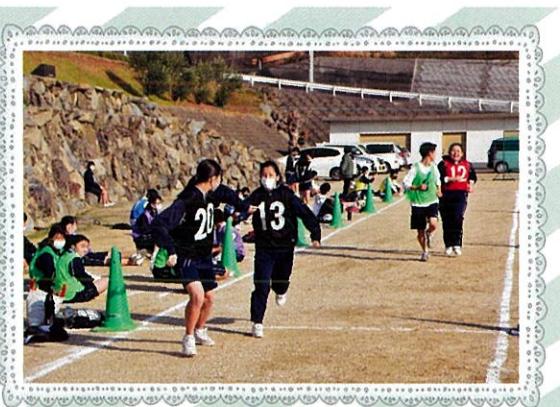


下津井中学校



下津井リレーマラソン

今年度も下津井マラソン大会が中止となり、本校では昨年度と同様、12月に下津井リレーマラソンを行いました。縦割りチームで行い、仲間を応援することはもちろん、疲れているチームメイトを見て「私が走るわ！」と率先して行動する上級生の姿に心を打たれました。また、その時に下級生が自然と発する「ありがとう」の言葉やその光景に、下津井中学校の温かい雰囲気を感じることができました。



人権週間

人権週間では、人権啓発ビデオ「共に生きるということ」を視聴し、共生社会を生きる私たちにとって大切な価値観を学びました。他者への目配り・気配りができる下生だからこそ、本当の思いやりについて自分自身と向き合うよい時間でした。

～生徒の感想より～

【1年生】

- 私は今まで目が見えない人は、不自由で大変だから優しさで助けた方がよいと思っていたけれど、それはどこかで差別をしていたんだなと感じました。
- 障がいのある人に「かわいそう」などと思っているのは、単なる私たちの考え方や思い込みだと感じました。

【2年生】

- 障がいのある人全員を弱者と見るのではなく、尊敬すべき人もたくさんいることが分かりました。
- 障がいのある人のことを理解してうまく接していくことが大切だと分かったので、もし苦労している人を見かけたらできることをしたいと思いました。

【3年生】

- すべて手助けをしようとするのではなく、本当に必要なときだけに手助けをすることが大事なんだと思います。
- 動画中の目が見えない方が「目が見えない人は、足が遅い人、身長が低い人と同じようなこと。」と言っていたのが今まで思っていたことと違いました。気をかけることはよいことだと再確認できたので安心しました。